



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリテ

コード番号 9904 URL <http://www.verite.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 平野 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長兼経理財務グループ部長兼情報システム部長 (氏名) 菊地 広毅

TEL 045-415-8800

四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,056	△13.4	△99	—	△110	—	△126	—
23年3月期第1四半期	2,375	—	33	—	33	—	△32	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△5.47	—
23年3月期第1四半期	△1.41	—

(注)当社は、22年3月期第1四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため、23年3月期第1四半期売上高等の増減については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,793	6,443	65.8
23年3月期	9,592	6,568	68.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,443百万円 23年3月期 6,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

当社は、新規事業であるブランド事業において積極的な新規出店を計画しており、有名百貨店等との出店交渉を継続しております。そのため、当社の業績は、新規出店の動向により大きく変動する可能性があり、現時点において業績予想を行うことは困難であるため、業績予想については、引き続き未定としております。

当社といたしましては、株主及び投資家の皆様に対する情報開示を一層推し進めるため、業績予想につきましては、合理的に予想可能となった時点で公表することとしております。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	24,654,825 株	23年3月期	24,654,825 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,599,672 株	23年3月期	1,599,422 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	23,055,320 株	23年3月期1Q	23,058,238 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

四半期決算短信(添付資料)P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5
(5) 重要な後発事象	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災とそれに伴う電力不足などにより企業の生産活動は著しく低下したものの、サプライチェーンの急速な復旧に伴い回復基調にあります。一方、急激な円高や電力不足の長期化等の不安材料も多く、景気の先行きは依然として不透明なまま推移いたしました。

宝飾品小売業界におきましては、大震災後の自粛ムードや地金の高騰等により極めて厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社は、売上高の伸長ではなく収益性の向上を図るため、商品構成の見直しとサプライチェーンの構築等による商品開発力の強化と商品原価の引下げ交渉を行い、収益の確保に向けた体制づくりを実施してまいりました。その結果、当第1四半期累計期間での粗利益率の改善は5.6%となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,056百万円（前年同四半期比13.4%減）、営業損失は99百万円（前年同四半期は営業利益33百万円）、経常損失は110百万円（前年同四半期は経常利益33百万円）、四半期純損失は126百万円（前年同四半期は四半期純損失32百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は9,793百万円となり、前事業年度末に比べ201百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、商品、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものです。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は3,349百万円となり、前事業年度末に比べ325百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したものの、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は6,443百万円となり、前事業年度末に比べ124百万円の減少となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、新規事業であるブランド事業において積極的な新規出店を計画しており、有名百貨店等との出店交渉を継続しております。そのため、当社の業績は、新規出店の動向により大きく変動する可能性があり、現時点において業績予想を行うことは困難であるため、業績予想については、引き続き未定としております。

当社といたしましては、株主及び投資家の皆様に対する情報開示を一層推し進めるため、業績予想につきましては、合理的に予想可能となった時点で公表することとしております。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、当第1四半期会計期間において99百万円の営業損失を計上し、前々期まで2期連続して営業損失を計上しております。当該状況により継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しております。

当該状況を解消すべく、ダイヤモンド専門店化と営業組織の強化を骨子とした新中期経営計画を策定し、計画の達成に向け取り組むことで収益力の回復を図ってまいりました。

また、当社は、従来より日本GE株式会社と、リボルビング・ローン契約を締結しておりますが、平成23年7月1日付で極度額を20億円に増額する変更契約を締結いたしました。

以上の結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は、認められないものと判断しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,591	1,257
受取手形及び売掛金	469	545
商品	4,459	4,806
その他	494	514
貸倒引当金	△25	△20
流動資産合計	6,989	7,104
固定資産		
有形固定資産	331	353
無形固定資産	23	24
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,508	1,537
その他	744	788
貸倒引当金	△4	△13
投資その他の資産合計	2,248	2,311
固定資産合計	2,602	2,689
資産合計	9,592	9,793
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,276	1,173
短期借入金	895	1,328
未払法人税等	69	18
返品調整引当金	18	23
その他	395	422
流動負債合計	2,654	2,966
固定負債		
長期借入金	200	200
退職給付引当金	115	129
ポイント引当金	42	45
その他	10	7
固定負債合計	369	383
負債合計	3,024	3,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,772	3,772
資本剰余金	4,052	4,052
利益剰余金	△910	△1,036
自己株式	△326	△326
株主資本合計	6,588	6,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19	△19
繰延ヘッジ損益	—	1
評価・換算差額等合計	△19	△18
純資産合計	6,568	6,443
負債純資産合計	9,592	9,793

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,375	2,056
売上原価	1,164	891
売上総利益	1,210	1,164
販売費及び一般管理費	1,176	1,263
営業利益又は営業損失(△)	33	△99
営業外収益		
地金売却益	9	—
受取手数料	8	8
雑収入	3	7
その他	2	1
営業外収益合計	24	17
営業外費用		
支払利息	1	7
為替差損	19	13
その他	2	8
営業外費用合計	24	28
経常利益又は経常損失(△)	33	△110
特別利益		
前期損益修正益	17	—
ポイント引当金戻入額	21	—
特別利益合計	38	—
特別損失		
店舗撤退損	9	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	81	—
その他	0	—
特別損失合計	90	2
税引前四半期純損失(△)	△18	△112
法人税、住民税及び事業税	14	13
法人税等調整額	—	△0
法人税等合計	14	13
四半期純損失(△)	△32	△126

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

(融資契約の締結)

当社は、従来より日本GE株式会社と、リボルビング・ローン契約を締結しておりますが、平成23年7月1日付で極度額を20億円に増額する変更契約を締結いたしました。

増 額 の 目 的	機動的な経営を遂行し、資金調達の安全性を高めるため
増 額 後 極 度 額	20億円
使 途	運転資金
利 率	T I B O R + 3. 25%もしくはL I B O R + 3. 25%のいずれか高い方
契 約 期 間	1. 5 年（最長 3. 5 年まで延長可能）
変 更 契 約 締 結 日	平成23年7月1日
貸 付 人	日本GE株式会社
財 務 制 限 条 項	(i) 設備投資額が600百万円を超えないこと（直近12ヵ月） (ii) Fixed Charge Coverage Ratio が1. 75倍以上であること (iii) 最低未使用額を常に20百万円以上維持すること (iv) 自己資本が5, 000百万円を下回らないこと (v) 在庫回転日数が475日以内であること